

まちのニュース カメラアイ ~地域のお話をお届けします~

10/30
(月)



農村生活体験を終えて

農村生活体験激励・感謝の会が行われました。実習生の吉田 齋^{ウサ}さんが実習体験を終え、受け入れていただいた農家の皆さんと実習期間を振り返り、笑顔が絶えない心に残る時間を過ごしました。

吉田さんは地元の広島県に帰られました。また和寒町に訪れたいと話していました。



10/21
(土)

元気いっぱい！おゆうぎ会

保育所のおゆうぎ会を、公民館を会場に開催しました。

保護者の皆さんは広い会場でゆったりと子どもたちの発表を見ることができ、子どもたちはのびのびと練習の成果を披露していました。

11/6
(月)



子どもたちが作ったお米を商品化

北のきらきらキッズプロジェクトが、和寒小学校の体験学習に協力しながら3年かけて育ててきた品種「しおかり」と「ゆめぴりか」を商品化し、冬音と塩狩ヒュッテで販売を開始しました。

「しおかり」は約40年前まで生産されていたもので、近年主流の米と比べて粘り気が少なく、パエリアやリゾットに合うと評価され、3年かけて種もみを増やし、360kgが収穫されました。

商品はいずれも300グラムで「しおかり」480円、「ゆめぴりか」360円です。

10/26
(木)



中学生が仕事を体験

和寒中学校2年生が町内事業所の職場体験を行いました。

生徒たちはガソリンスタンドやコンビニエンスストア、保育所、病院などに分かれ、それぞれの職場でどのような仕事が行われているかを学びました。

フタバ屋菓子舗で体験した2名は、「お菓子づくりは楽しそうに見えたけど、やってみるととても大変な仕事だった」と話し、働くことの苦労や楽しさを学んでいました。

11/12
(日)



道北地域の合同合唱祭

第42回道北合唱祭が和寒町公民館で開催されました。

この合唱祭は、地域で活動している方々が一堂に会して交流しようと毎年開催されており、今年の名寄市、士別市などから9団体が参加しました。

町内からはコーラスにれと和寒中学校音楽部が参加し、最後に参加者約100名がステージに集まり、さくらももこ作詞の「ぜんぶ」全員で合唱するなど、会場は美しい歌声に包まれていました。

11/10
(金)



詐欺被害防止と防災知識を学ぶ

若草自治会老人クラブ 若草楡の会が「防犯講話と非常食炊き出し訓練」を開催しました。参加した約20名は、和寒駐在所の長井所長と藤村巡査長による防犯寸劇を通して、日々、変化する特殊詐欺の手口や詐欺にあわないための自主防犯を学びました。また、防災に関するクイズや非常食炊き出し訓練も実施され、防災に関する知識を深めていました。

11/16
(木)



地元の野菜をいただきます！

和寒小学校で、JA北ひびき管内の野菜を使ったふるさと給食会が行われ、広富副町長やJA北ひびき今野副組合長などが6年生と一緒に給食を試食しました。

給食の前には今野政志副組合長が食の大切さなどを話し、子どもたちは地元の野菜をよく味わいながらおいしく給食を食べていました。

11/11
(土)



防災・防犯の意識を高める

仲町自治会による「防災の集い」が開催され、約60名の参加がありました。この集いでは、自治会の防災士による防災関係の講話や、和寒駐在所の長井所長による防犯関係の講話、消防和寒支署の指導によるAED（自動体外式除細動器）の操作方法などを学び、参加者は日頃の防災・防犯に対する意識を高めていました。